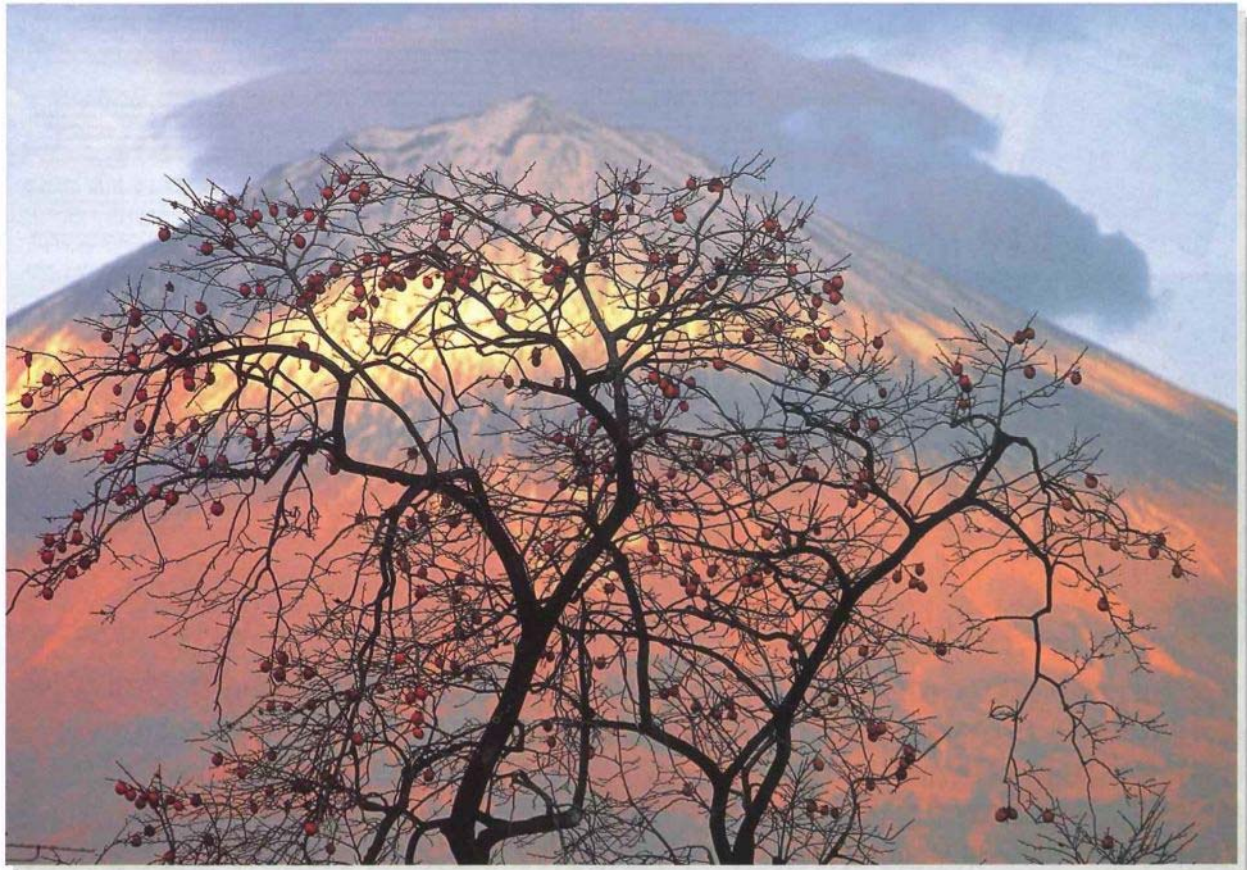


砂防だより



残り柿（富士宮市）

砂防関係事業の推進を国へ要望	2
静岡県9月補正予算	
静岡の砂防100周年記念特集（第3弾）.....	3
市町村長等砂防事業県外視察	4
平成13年度砂防関係事業の代表的な完成箇所	6
わがまちの砂防	10
（修善寺町・蒲原町・大東町・細江町）	
砂防関係の主な行事	12

特集

静岡の砂防100周年記念

市町村長等による砂防視察研修
**雲仙普賢岳噴火災害と復興
状況視察**

**平成13年度砂防関係事業の
代表的な完成箇所**

2002年は静岡の砂防100周年



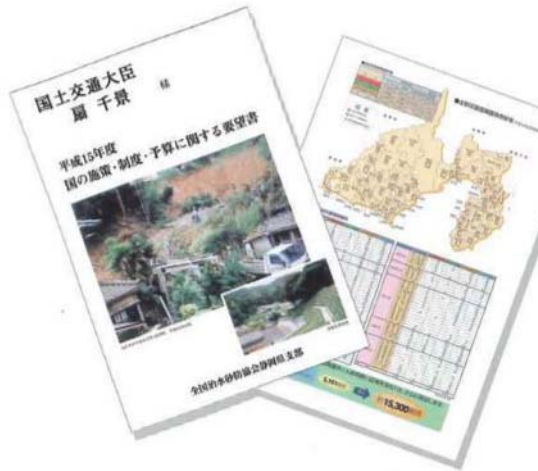
全国治水砂防協会
静岡県支部

平成15年度

砂防事業の推進を国へ要望

本支部では、平成14年8月20日、直轄砂防事業の推進、補助砂防関係事業の推進、富士山火山防災対策の一層の推進を図るため、国に対し来年度予算に格別の配慮を賜るよう要望しました。

要望先は、本県選出の国会議員をはじめ、国土交通大臣、技監、国土交通省の関係幹部職員など30名にのびりました。



砂防事業の砂防事業、砂防対策事業並びに砂防関係事業の推進の要望につきましては、目下格別の配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

これは、直轄砂防事業や補助砂防事業をはじめ多くの砂防事業が存在し、但れやすい砂防事業を減少して、数多くの砂防事業が削減されている状況にございます。このため、本県では砂防事業の削減に努めるとともに、砂防と治水との連携による「土砂災害対策推進システム」の整備を進め、総合的な土砂災害対策に努めるとともに、また、富士山ハザードマップ作成協会の中間報告も発表され、富士山の火山防災への関心の高まりも感じられております。つきましては、平成15年度予算編成に当たっては、砂防事業の削減は避けたいと考えておりますが、次の事項について格別のご配慮を下さるようお願い申し上げます。

1. 直轄砂防事業の増額
2. 補助砂防関係事業の増額
3. 富士山火山防災対策の推進

平成14年 日
国土交通省砂防関係専門委員会
委員長 青柳 隆夫

1. 直轄砂防事業の推進

国土交通省は、国土交通省の所管する砂防事業のうち、直轄砂防事業が中心となります。直轄砂防事業は、平成15年度予算に大幅な増額が望まれます。直轄砂防事業は、国土交通省の所管する砂防事業のうち、直轄砂防事業が中心となります。直轄砂防事業は、平成15年度予算に大幅な増額が望まれます。

区分	平成14年度	平成15年度	増減額
直轄砂防事業	2,232	2,232	0
補助砂防関係事業	2,232	2,232	0
合計	4,464	4,464	0

2. 補助砂防関係事業(砂防・治水)への格別配慮の要望

国土交通省は、国土交通省の所管する砂防事業のうち、補助砂防関係事業が中心となります。補助砂防関係事業は、平成15年度予算に大幅な増額が望まれます。補助砂防関係事業は、平成15年度予算に大幅な増額が望まれます。

3. 富士山火山防災対策の推進

国土交通省は、国土交通省の所管する砂防事業のうち、富士山火山防災対策が中心となります。富士山火山防災対策は、平成15年度予算に大幅な増額が望まれます。富士山火山防災対策は、平成15年度予算に大幅な増額が望まれます。

～県の9月補正予算～

砂防関係 国庫補助事業・県単独事業に6億8,700万円

県の平成14年度9月補正予算が発表されました。

一般会計の補正規模は、97億1,500万円と、昨年度の140億4,000万円に比べ40億円余り少なく、3年連続の大幅な減となっています。また、100億円を下回るのは昭和50年度以来、27年ぶりのことです。

砂防関係予算は、6億8,700万円の増額補正があり、9月現計で118億7,248万円余となりました。

補正の内訳は国庫補助事業で6億3,700万円(当初予算の追加申請分)、県単独事業で5,000万円(生活環境整備事業)です。県単独事業においては、台風6号による被災箇所を重点的に整備します。

(単位:千円)

区 分	平成14年度予算			H13最終予算 (B)	A/B (%)
	当初予算	9月補正額	合 計 (A)		
行 政 費	43,485	0	43,485	25,226	172.4
国庫補助事業	8,080,000	637,000	8,717,000	10,910,009	79.9
県単独事業	1,789,000	50,000	1,839,000	2,235,245	82.3
国直轄事業負担金	1,273,000	0	1,273,000	2,376,549	53.6
合 計	11,185,485	687,000	11,872,485	15,547,029	76.4

静岡の砂防100周年記念特集

◆砂防事業現場見学会を県内3会場で開催

8月20日、21日（県民の日）の2日間にわたり、砂防事業現場見学会を開催しました。

今年は、静岡の砂防100周年を記念して県内3ヶ所で見学会を開催したところ、65名の方々が参加されました。

参加された皆さんからは、「砂防のことがよくわかり勉強になった」、「土砂災害について知識を深められた」などたくさんのご意見をいただくなど有意義な見学会となりました。

半済（菊川町）地すべり事業 現場見学会

半済地区では、平成10年の大雨で地すべりが発生しました。今回の見学会では、災害対策として施工した緊急地すべり対策施設を見学しました。その後、菊川町役場に移動し、土砂災害について学習会を開催しました。



口坂本（静岡市）砂防事業 現場見学会

口坂本地区は、明治42年から砂防堰堤の建設が始まり、現在も砂防工事や地すべり工事を行っています。今回の見学会では坂本川上流の砂防堰堤や、土石流監視システムを見学しました。



木和田川（岡部町）砂防堰堤 現場見学会

木和田川は、明治時代に建設された石積堰堤が数多く残り、砂防学習ゾーンとして整備されています。今回の見学会では地元ボランティアによる砂防堰堤の説明や、木和田川での砂防工事の歴史に関するクイズラリーを行いました。



11月1日（金） 静岡の砂防100周年記念碑除幕式・記念式典の開催

● 静岡の砂防100周年記念碑除幕式 於 静岡市牛妻（安倍川河川敷） 10:30～

100年にわたり土砂災害の防止に努めてきた先人達の偉業を讃えるとともに、安全な県土を祈念し、記念碑の除幕と記念植樹を行います。

● 静岡の砂防100周年記念式典及び記念講演会

於 静岡県女性総合センター「あざれあ」6階大ホール 13:00～

静岡の砂防100年のあゆみの紹介、土砂災害に関する絵画等の展示、優秀作品の表彰と、青木奈緒氏（幸田露伴の曾孫）による記念講演会「山を訪ね、川に想う」を開催します。多数の方の参加をお待ちしております。

【問い合わせ】 砂防室 054-221-3042

11月10日（日） 安倍川SABOウォーク

安倍川上流では、恵まれた自然と緑を保全しつつ、後世に残せる砂防事業を行っています。特に、静岡市梅ヶ島にある大谷崩れは、日本三大崩れの一つであり、自然の驚異を身近に感じることができます。今年は、静岡の砂防100周年、安倍川上流域を国が直轄で砂防事業をはじめて65周年にあたり、砂防事業を県民の皆様により一層理解と関心を深めていただくために、国土交通省静岡河川工事事務所と静岡県砂防室で「安倍川SABOウォーク」を開催します。ふるってご参加下さい。

【行程】 県庁～大谷崩れ、梅ヶ島温泉等～県庁（目的地まではマイクロバスで移動します。）

※応募方法等は、12ページをご参照ください。



昨年の実施状況

特集

市町村長等による砂防視察研修

雲仙普賢岳噴火災害と復興状況視察

砂防協会県支部は、平成14年8月22日～24日に雲仙普賢岳噴火災害と復興状況を視察しました。

この視察は、国土交通省九州地方整備局雲仙普賢岳復興工事事務所、長崎県、島原市の協力を得て実施したもので、原田袋井市長をはじめ35名が参加されました。

今回の視察は、平成2年11月からの雲仙普賢岳噴火活動による被災地、土石流災害の現場及び復興状況を視察し、活火山と共生する新しいまちづくり等について意見交換することで、災害発生時の地方自治体の危機管理対策の参考にします。

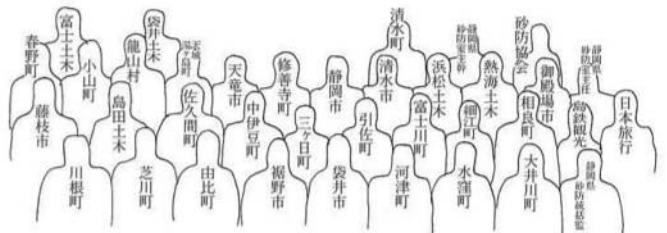
改めて砂防事業の重要性を感じ、有意義な視察が出来たことを関係各位の皆様にご心より御礼申し上げます。



雲仙岳災害記念館前にて

日程

- 8月22日 長崎空港集合 → 長崎市
- 8月23日 中島川(河川激甚災害特別緊急事業)
芒塚川砂防(砂防激甚災害対策特別緊急事業)
諫早湾干拓堤防
島原市役所(吉岡島原市長と意見交換)
雲仙普賢岳噴火災害現場と復興状況
(水無川、雲仙岳災害記念館、みずなし本陣ふかえ)
- 8月24日 仁田峠(平成新山) → 長崎空港解散



参加市町村等

静岡市、清水市、藤枝市、御殿場市、袋井市、天竜市、裾野市、河津町、修善寺町、天城湯ヶ島町、中伊豆町、清水町、小山町、芝川町、富士川町、由比町、大井川町、川根町、相良町、春野町、龍山村、佐久間町、水窪町、細江町、引佐町、三ヶ日町、熱海土木事務所、富士土木事務所、島田土木事務所、袋井土木事務所、浜松土木事務所、砂防室(事務局)

昭和57年長崎大水害被災地視察



復旧された現在の眼鏡橋

その後、山崩れや土石流により死者・行方不明者15名の犠牲を出した長崎市郊外の芒塚地区を視察しました。同地区では多くの家屋が半壊、浸水の被害を受け、国道34号も寸断されましたが、砂防激甚災害対策特別緊急事業で、砂防堰堤3基、沈砂地1基が完成しました。

雨の中の視察でありましたが、視察団の皆さんは熱心に長崎県の担当者の話を伺っていました。

昭和57年7月の長崎大水害により中島川周辺の市街地は甚大な被害を被りました。このため、河口から1.75km区間を河川激甚災害対策特別緊急事業で改修工事を行いました。この区間には、8橋の石橋群が存在していましたが、重要文化財「眼鏡橋」は暗渠バイパス水路を設置し、現位置に保存することになりました。

現在は、激特区間を広域基幹河川改修事業として、工事を行っているそうです。



芒塚川現況

雲仙普賢岳噴火災害と復興状況視察

視察2日目の23日午後には、島原市役所を訪問しました。吉岡島原市長より住民の警戒避難体制の整備状況、復興についての大変参考になるご意見を頂きました。また、災害対策課の深浦課長より噴火災害の教訓等についての説明を受け、災害時における警戒避難対策や各種の問題等について熱心な意見交換が行われました。

雲仙復興工事事務所の前田副所長より防災監視システムによる情報提供の拠点として9月に開所予定の大野木場監視所で、溶岩ドームの崩壊や土石流から地域の安全を確保するための光ケーブル、カメラ、雨量計などの監視機器の整備や、防災情報の提供等について説明を受けました。

大野木場監視所に隣接する大野木場情報センター内には、噴火災害の実態や防火対策など情報提供のためのパネルが多数展示されていました。同センターの隣には、平成3年9月15日に発生した大火砕流の熱風により被害を受けた大野木場小学校が当時のまま残されており、変形したパイプや窓枠が自然災害のすさまじさを物語っていました。

その後、今年の7月1日にオープンしたばかりの全国初の火山体験学習施設である「雲仙岳災害記念館」を訪問し、雲仙普賢岳噴火に伴う「火砕流」や「土石流」の映像と連動して床が動くとともに、噴出する熱風で災害を疑似体験できる直径14mのドーム型スクリーンで再現したシアターや、焼け焦げた電柱や電話ボックスなどの火砕流のつめ跡がそのままの展示室などを見学しました。

その他、復興事業の一環として建てられた日本最大規模の道の駅「みずなし本陣ふかえ」では、被災家屋11棟が土に埋もれたまま保存・展示されている「土砂災害被災家屋保存公園」を視察しました。

最終日の24日には仁田峠より土砂で覆われた平成新山を視察する予定でしたが、悪天候のため車窓よりの視察となりました。



島原まゆまロードから望む火砕流、土石流のつめ跡



島原市役所での吉岡島原市長の説明



大野木情報センターでの説明

参加者の声

袋井市長 原田英之
(静岡県支部副支部長)

市町村長等砂防事業県外視察で「雲仙普賢岳の噴火災害と復興状況視察」を視察しました。

雲仙普賢岳の噴火による火砕流や土石流のつめ跡を目の当たりにし、自然災害の脅威を再認識しました。また、吉岡島原市長より防災対策や危機管理、復興についての大変参考になるご意見をいただきました。今回の視察で得た貴重な教訓を地域行政に大いに役立てて参りたいと思います。

視察先では、吉岡島原市長をはじめ、国土交通省九州地方整備局雲仙復興工事事務所、長崎県、島原市や関係者の皆様に多大な御協力と御配慮をいただいたことに厚く御礼申し上げます。

また、団員各位の御協力により全員無事で全日程を終えることが出来ましたことを心より感謝しております。

特集

平成13年度 砂防関係事業の代表的な完成箇所

砂 防 事 業



● 天白沢砂防堰堤

事業名/通常砂防事業
(都市山麓グリーンベルト整備事業)
箇所/清水市大内地先
期間/平成9~13年
事業費/313百万円
概要/コンクリート砂防堰堤
H=14.5m、L=55.1m
事業効果/土石流による災害を防ぐため、砂防堰堤工を
施工し、人家40戸の安全が図られた。



● 湯舟川床固工群

事業名/火山砂防事業
(緑の砂防ゾーン創出事業)
箇所/田方郡修善寺町湯船地先
期間/平成3~13年
事業費/1,082百万円
概要/床固工6基、砂防樹林帯
事業効果/土石流による災害を防ぐため、床固工及び砂
防樹林帯を施工し、人家55戸や緊急輸送路
(県道修善寺戸田線)の安全が図られた。



● 土沢右支川砂防堰堤

事業名/火山砂防事業
箇所/熱海市伊豆山地先
期間/平成9~13年
事業費/353百万円
概要/コンクリート砂防堰堤
H=13m、L=53m
事業効果/土石流による災害を防ぐため、砂防堰堤工を
施工し、災害弱者である幼稚園や人家250
戸の安全が図られた。



● 栗沢砂防堰堤

事業名/通常砂防事業
箇所/周知郡春野町杉地先
期間/平成11~13年
事業費/156百万円
概要/コンクリートスリット砂防堰堤
H=11m、L=36m
事業効果/土石流による災害を防ぐため、砂防堰堤工を
施工し、人家17戸や緊急輸送路(国道362
号)の安全が図られた。

地すべり対策事業



● 諸子沢

事業名/災害関連緊急地すべり対策事業
箇所/静岡市諸子沢地内
期間/平成12~13年
事業費/996百万円
概要/集水井工5基、横ポーリング工L=2,050m
法枠工A=2262㎡、アンカー工N=388本
事業効果/平成12年9月の豪雨により地すべりが発生したため、早急な対策工を実施し、人家20戸や市道の安全が図られた。

急傾斜地崩壊対策事業



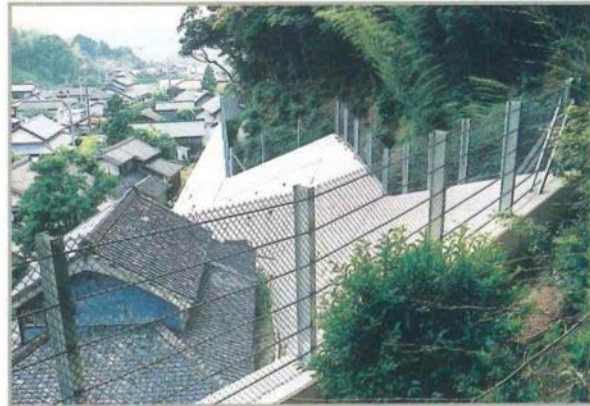
● 雲見上の山

事業名/急傾斜地崩壊対策事業
箇所/賀茂郡松崎町雲見地内
期間/平成11~13年
事業費/154百万円
概要/擁壁工L=177.2m
事業効果/がけ崩れによる災害を防ぐため、対策工事を施工し、人家24戸及び国道136号の安全が図られた。



● 郷島奥平

事業名/急傾斜地崩壊対策事業
箇所/静岡市郷島地内
期間/平成8~13年
事業費/328百万円
概要/擁壁工L=48.9m
法枠工L=103.6m
事業効果/がけ崩れによる災害を防ぐため、対策工事を施工し、人家24戸の安全が図られた。



● 勝佐

事業名/急傾斜地崩壊対策事業
箇所/小笠郡浜岡町比木地内
期間/平成12~13年
事業費/126百万円
概要/擁壁工L=164.0m
事業効果/がけ崩れによる災害を防ぐため、対策工事を施工し、人家14戸の安全が図られた。

平成14年度 土砂災害の発生状況と対策

台風6号・21号等の豪雨で40件の土砂災害発生 2件が災害関連緊急事業に採択、7箇所急傾斜施設が災害を未然防止

平成14年は9月3日までに全国40都道府県で392件（土石流38件、地すべり138件、がけ崩れ216件）の土砂災害が発生しています。

県内でも、7月の台風6号の豪雨により21件の土砂災害が発生しましたが、幸いにも人的被害はありませんでした。このうち、7箇所急傾斜防止施設が崩壊土砂を受け止め、がけ崩れからの人家への被災を未然防止し、急傾斜地崩壊対策事業をはじめとする砂防関係事業が、住民の安全度の向上に大きく貢献しました。

発生した土砂災害のうち、今後の降雨により被害の拡大のおそれがある2件（地すべり1件、急傾斜1件）については、国土交通省へ災害関連緊急事業を申請したところ、2億7,700万円の事業採択を受け、早急に対策を実施しています。

また、10月1日の台風21号の伊豆半島を中心とした豪雨により、16件の土砂災害が発生し、10月9日現在で累計40件となっています。

1 土砂災害の発生件数（平成14年10月9日現在）

原因	H10	H11	H12	H13	H14
土石流	9	0	4	0	1
地すべり	7	2	1	7	4
がけ崩れ	125	10	16	14	35
計	141	12	21	21	40



「大岩芝欠」がけ崩れ被災状況（静岡市）

2 平成13年度 災害関連緊急事業 実施状況（平成14年10月9日現在）

区分	箇所名	市町村名	事業費(百万円)	事業内容	被災原因
地すべり	滝之谷川	掛川市	219	集水井工 横ボーリング工	H14.7.9~11 台風6号
がけ崩れ	大岩芝欠	静岡市	58	擁壁工 法枠工	H14.7.9~11 台風6号
計	2		277	-	-

「諸子沢」地すべり対策工事が完成

平成12年9月の豪雨で大規模な地すべりが発生した静岡市「諸子沢」地区の地すべり対策工事が完成し、9月13日、現地で完成記念式典が開かれました。

地すべりの活発化で付近の家屋や直下を流れる諸子沢川の上流流域に被害が及ぶのを防ぐため、災害関連緊急地すべり対策事業の採択を受け、工事は平成12年12月に着手し、補助地すべり対策事業と併せ、今年8月に完成しました。地すべりの規模は、幅約160m、奥行き約250m、主な対策工事は集水井工5基、吹付け法枠工2,262㎡、アンカー工388本、事業費は9億9,600万円です。

式典には、上川衆議院議員、小嶋静岡市長、国土交通省砂防部亀江保全課長、山口静岡県土木部長等の関係者や地元住民ら約100人が出席し、工事の完成を祝いました。



完成式典で祝辞を述べる亀江国土交通省保全課長

第1回静岡県土砂災害防止法指定検討委員会の開催

平成14年9月20日、県女性総合センター「あざれあ」で「第1回静岡県土砂災害防止法指定検討委員会」が開催されました。この委員会は、昨年4月に施行された土砂災害防止法を適正かつ公平に運用していくために、学識経験者や国、市町村、住民からの意見・助言を求めるものです。

第1回の委員会では、土砂災害防止法の概要、県の取り組み状況や土砂災害防止法運用における課題を説明し、今後の検討事項について討議しました。



検討委員会の様子

静岡県土砂災害防止法指定検討委員（順不同、敬称略）

土屋 智	静岡大学農学部教授	井野 盛夫	富士常葉大学環境防災学部教授
中村 和夫	静岡大学人文学部教授	重川希志依	富士常葉大学環境防災学部助教授
吉柳 岳志	国土交通省中部地方整備局河川部建設専門官	冨田 陽子	国土交通省中部地方整備局富士砂防工事事務所長
高橋 友之	熱海市建設部長	池島 弘	春野町建設課長
鈴木 健治	静岡市賤機南学区連合町内会長	榛葉 恒治	掛川市自主防災会役員

平成14年度公共事業の再評価結果が発表される 「湯ヶ野」地すべりで事後評価

県は公共事業の効率性及びその実施過程の透明性を一層の向上を図るため、平成10年度から再評価を実施しているところです。9月9日、平成14年度に公共事業の再評価を実施した土木部、都市住宅部、農業水産部及び環境森林部所管の県事業23事業の対応方針を、静岡県事業評価監視委員会（委員長：向坂達也弁護士）の意見を踏まえ、いずれも「継続」と決定しました。

砂防室所管事業では、本年度は該当箇所がありませんでしたが、平成7年度「湯ヶ野」災害関連緊急地すべり対策事業（河津町）について事後評価が試行的に実施されました。

■ 再評価の結果

部 局	事業区分	総事業数	対応方針		
			中止	休止	継続
土 木 部	河 川 事 業	3	—	—	3
都市住宅部	街 路 事 業	1	—	—	1
農業水産部	農業農村整備事業	14	—	—	14
環境森林部	治 山 事 業	3	—	—	3
	林 道 事 業	2	—	—	2
合 計		23	—	—	23

〈平成14年度〉 事業評価監視委員会の審議状況

平成14年 6月 6日(木)	第1回委員会
7月29日(月)	現地視察
7月31日(水)	第2回委員会
9月 2日(月)	知事あて意見書提出

平成14年度 (社)日本地すべり学会・第41回研究発表会開催される

平成14年8月27日から30日にかけて徳島県徳島市において「平成14年度(社)日本地すべり学会・第41回研究発表会及び現地見学会」が開催されました。（静岡県より11人参加）

初日、尾池京都大学副学長が「地震活動期の西日本」、村田徳島大学教授が「四国の地質構造と活断層」と題して、常に日本国内のどこかで一定以上の地震が発生している実態や、静岡県の主たる地すべり地域である四万十帯について講演がありました。翌日から、「研究発表会」「ポスターセッション」、メーカーの「地すべり機器展示」、最終日には、日本でも最大級の破砕帯地すべりである「善徳地すべり」の「現地見学会」が行われ、会場や現地で活発な討議が交わされました。



「善徳」地すべり全景（西祖谷山村）

七がまちの砂防

修善寺町

修善寺町 建設課長 飯田良和

修善寺町は、伊豆半島のやや北部にあって、東西約16.5km、南北8.1kmのやや細長い菱形をなしており、面積は69.4km²で、その大部分は天城・巢雲・達磨山山系に囲まれた丘陵で占められ、約7割が山林原野となっております。町のほぼ中央を、伊豆で最大の狩野川が蛇行して北流し、修善寺川・古川・大見川等支流が合流、集落及び耕地は狩野川本流とこれらの支流の沿岸に発達しております。また、町の北西部は富士箱根伊豆国立公園地域となり風光明媚な観光地となっており、平成2年に修善寺自然公園内にオープンした「虹の郷」には、毎年多くの観光



湯舟川床固工群



修善寺虹の里 日本庭園の紅葉

客や町民が来場しています。

狩野川本流の上流側には、国土交通省直轄の砂防堰提群が施工され、住民の暮らしの安全を守っています。また、修善寺川の上流湯舟川には、県の火山砂防事業により、土石流を砂防林と一体となって面でとらえる「緑の砂防ゾーン」として、床固工群が平成4年度から約10年間かけて整備されてきました。今後は、安心して利用できる施設として活用していきたいと思ひます。

今後とも、住民が安全で且つ安心して生活できる環境づくりに、関係各位のより一層のご支援ご協力をお願いいたします。

蒲原町

蒲原町 建設産業課長 菊地信博

蒲原町は駿河湾中央最深部に位置し、東西へ帯状に伸びた平坦地に、駿河湾に流れ込む河川8本を数えております。

その河川は何れも急流なうえ地質も脆弱で、大雨等による土石流、地すべり、がけ崩れ等の被害が過去に幾多か発生しており、人家保全のため土砂災害防止対策を進めてまいりました。

また、当町では急傾斜地崩壊危険箇所は9箇所が指定されており、内8箇所が完成及び、一部完成しております。

平成13年3月に指定された諏訪第3地区は、地域公民館をはじめ、民家の背後に傾斜地を背負う状態で昭和49年、



景観に配慮し整備の進む諏訪第3急傾斜地

57年に災害発生しており、地域住民の強い要望により、平成13年度より、3ヶ年をかけ県事業で整備を進めている所であります。

当地区は、旧東海道「蒲原宿」東木戸の始点であり、多くの方々の訪れるところでもあり、施設も景観に配慮しております。

町民が安心して快適な生活を営めるよう、これまで整備された箇所の維持管理を含め、今後とも国、県をはじめとする関係機関にご理解をいただき、災害対策に万全を期していきたいと思っております。



旧東海道蒲原宿「東木戸」



大東町

大東町 建設課長 溝口邦男

大東町は、静岡県の中西部に位置し、温暖な気候に恵まれた、歴史、文化、自然にやさしくふれあえる町です。

北にそびえる小笠山は、緑豊かで、自然観察の絶好のスポットとして、野鳥の宝庫といわれています。町の中西部には、いにしへの戦国の歴史を今に伝える国指定史跡「高天神城跡」。南に広がる雄大な遠州灘では、マリンスポーツを楽しむ若者、一級河川菊川の河口には浜松御前崎自転車道が通り河口を渡る潮騒橋、左岸には心と身体のリフレッシュできる地中海風の温泉リゾート施設「大東温泉シートピア」などがあり、農業を中心として各産業がバランス良く成長をする調和のとれた町として発展しています。

高天神城は、標高132mの鶴翁山を中心に、放射状に伸びるいくつもの尾根を巧みに使った山城で、周囲には下小笠川などの中小河川が流れ、天然の堀を形成していて、守りやす



嶺向急傾斜地

く、攻めにくい構造となっていたので「難攻不落の名城」とよばれていました。

この高天神城の麓の嶺向地区の住宅の裏山が、平成10年9月の集中豪雨により崩壊しました。幸いにも人的な被害はありませんでした。この住宅地は5軒の住宅が連なっており、裏山は、泥岩の急傾斜地で、崩壊の恐れがある地形でした。県の指導を受け、急傾斜地崩壊危険区域として指定をしていただき、平成11年度から3ヶ年で事業は完了し、地域住民の安心・安全の生活が確保することができました。

しかし、本町内には、住宅地の裏側に急傾斜地を背負っている箇所がまだまだあります。今後とも、関係機関の皆様方のご指導、ご支援を賜りながら、土砂災害の防止に努めていきたいと考えております。



高天神城（当時の想像図）

細江市

細江町 建設課長 根本紀房

細江町は、「充実した暮らしの中に新しい明日が見えるまち」を基本理念にまちづくりを推進しています。

東海道の脇往還である本坂道は、東海道見付宿から奥浜名湖を經由し愛知県御油宿に至る道筋で、新居関所や今切の渡しを避け、この道を通った姫様や婦女子が多かったことから姫街道の名を残しています。毎年4月「姫街道中」が豪華絢爛に繰り広げられ、街道に時代絵巻さながらに再現されます。

また、街道の気賀宿には気賀関（再建済み）が設けられ、江戸幕府終焉まで続きました。関所を配する地形にあった町中央部は、街区に斜面地が近接し土砂災害の危険にさらされてきました。平成10年度の呉石沢砂防堰堤の施工



姫街道中

は、土砂災害の危険と背中あわせに生活する地域住民に大きな安心を提供できました。住民が充実した暮らしを営むためにも、今後の砂防事業への期待は大であります。



呉石沢砂防堰堤

静岡の砂防100周年

静岡の砂防100周年 記念碑除幕式

明治35年に静岡市仙俣川で産声をあげた砂防。今年で100年を迎えました。土砂災害の防止に努めてきた先人達の偉業を讃えるとともに、安全な県土を祈念し、記念碑の除幕と植樹を行います。

- 日 時 平成14年11月1日(金) 午前10時30分～午前11時
- 会 場 静岡市牛妻(安倍川河川敷)

安倍川SABOウォーク参加者募集

砂防事業について県民の皆様により一層理解と関心を深めていただくため、国土交通省静岡河川工事事務所と静岡県砂防室で「安倍川SABOウォーク」を開催します。

- 月 日 平成14年11月10日(日)
- 集合場所 県庁前
- 参加費用 大人100円、子供50円(保険加入費)
- 見学場所 大谷崩れ、梅ヶ島温泉等
- 申込・問合せ先
国土交通省静岡河川工事事務所内 安倍川SABOウォーク実行委員会
〒420-0068 静岡市田町3-108 TEL 054(273)9100
- 申込方法
往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を明記して
10月31日までに上記まで

※ 定員60名程度、応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

静岡の砂防100周年 記念式典・講演会

入場無料

〈エッセイスト 青木奈緒氏講演〉

- 日 時 平成14年11月1日(金) 午後1時～午後3時
- 会 場 静岡市牛妻(安倍川河川敷)
- 場 所 静岡県女性総合センター「あざれあ」6階 大ホール
- 内 容 砂防100年の歴史の紹介
砂防はかせの「砂防って何?」
絵画・ポスター・作文・写真コンクール表彰、作品展示
記念講演「山を訪ね、川に想う」
- 参加費 無料
- 申込・問合せ先
〒420-8601 静岡市追手町9-6 静岡県 河川砂防総室 砂防室
TEL 054(221)3042 FAX 054(221)3564
E-mail : sabo@hp.pref.shizuoka.jp



〈プロフィール〉

曾祖父は明治の文豪・幸田露伴、祖母は随筆「崩れ」の作者・幸田文、母は作家・青木玉。学習院大学文学部ドイツ文学科修士課程終了後、ウィーンに留学。以後、通訳、翻訳などをしながらドイツなどに滞在。エッセイ集「ハリネズミの道」で作家デビュー。現在、「婦人公論」にて対談連載中。また、昨年から全国の「崩れ」の地を訪ねたエッセイを執筆中。静岡県にも5月訪問。

2002 火山砂防フォーラムの開催

2002年3月、23年ぶりの噴火を人的被害を出すことなく乗り切った北海道有珠山周辺で、前回の噴火以降、行政・学識会・民間が一緒になって防災に取り組んだ23年間の様々な労苦や復興への足取りなどを検証するとともに、グローバルな視点から今後の噴火対策の課題を探ります。

- 月 日 平成14年10月28日(月)～29日(火)
- 会 場 北海道虻田町 洞爺湖文化センターほか
- 主 催 火山砂防フォーラム委員会

富士山防災シンポジウムの開催

初の災害予測図(ハザードマップ)作成の動きで全国的に注目を集めている富士山の防災対策について、有珠山の噴火災害体験者や、行政、学者の第一人者らが熱く語り、討論します。

- 日 時 平成14年11月21日(木) 午後1時～4時
- 会 場 富士市ロゼシアター(中ホール)
- 主 催 読売新聞東京本社、静岡支局、甲府支局
- 後 援 静岡県、富士市、富士宮市
静岡第一テレビなど

入場無料

編・集・後・記

8月22日～24日に行われました市町村長等砂防事業県外視察で去る平成2年に噴火した雲仙普賢岳を視察しました。実際に見る火砕流・土石流のつめ跡は想像以上の規模で、自然災害の恐ろしさを痛感しました。また、訪問先の案内役の方々皆さんが必ず、「島原市へようこそ。噴火の際は、義援金・多くの励ましをありがとうございました。」とおっしゃるのが印象に残りました。



- 11月 1日 静岡の砂防100周年記念 記念碑除幕式、記念式典 記念講演会
- 11月10日 安倍川SABOウォーク
- 11月14～15日 市町村等砂防担当職員研修 (神奈川県鎌倉市ほか)
- 11月21～22日 東海地区全国治水砂防協会支部長会議
- 11月26日 全国治水砂防促進大会 (東京・砂防会館)
- 11月26日 静岡県支部砂防関係事業促進の要望

表紙写真：残り柿(富士宮：北山)
撮 影：鈴木 弘(浜松市)

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しております！皆さんの御協力お願い申し上げます。詳しくは下記宛にお問い合わせ下さい。

第139号 発行日：平成14年10月15日
編集・発行：全国治水砂防協会静岡県支部
〒420-8601 静岡市追手町9番6号
静岡県土木部河川砂防総室砂防室内
TEL (054) 221-3042 FAX (054) 221-3564
E-mail : sabo@hq.pref.shizuoka.jp



古紙配合率80%再生紙を使用しています